

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-524563 (P2001-524563A)

【公表日】平成 13 年 12 月 4 日 (2001.12.4)

【出願番号】特願 2000-522153 (P2000-522153)

【国際特許分類】

**C 0 8 L 23/16 (2006.01)**

**C 0 8 J 5/00 (2006.01)**

**C 0 8 L 21/00 (2006.01)**

**C 0 8 L 23/10 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 L 23/16

C 0 8 J 5/00 C E Q

C 0 8 L 21/00

C 0 8 L 23/10

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 10 日 (2005.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

約 20 ～ 約 85 重量部のゴム及び約 15 ～ 約 80 重量部の半結晶性ポリプロピレンであって、前記重量部が前記ゴムと前記ポリプロピレンの 100 重量部に基づくものであるもの、及びピーク溶融温度が約 55 から約 110 である熱可塑性ランダムエチレンコポリマー、を含む熱可塑性加硫ゴム組成物であって、前記ポリプロピレンの前記ランダムエチレンコポリマーに対する重量比率が約 100 : 5 ～ 100 : 150 であり、前記ランダムエチレンコポリマーが、前記ランダムエチレンコポリマーの重量に基づいて、約 70 ～ 約 95 重量%のエチレンからの繰返し単位及び約 5 ～ 約 30 重量%の 1 種以上のその他のエチレン性不飽和モノマーからの繰返し単位を含み、前記ゴムが、エチレン - プロピレン - ジエンゴム、天然ゴム、ブチルゴム、ハロブチルゴム、p - アルキルスチレンと少なくとも 1 種の 4 ～ 7 個の炭素原子を有するイソモノオレフィンのハロゲン化ゴムコポリマー、4 ～ 8 個の炭素原子を有する共役ジエンのゴムホモポリマー、又は 4 ～ 8 個の炭素原子を有する少なくとも 1 種の共役ジエンからの繰返し単位を少なくとも 50 重量%有するゴムコポリマー、又はそれらの組合わせを含み、前記熱可塑性加硫組成物の残留伸び (tension set) が ASTM D 412 で測定して約 50 % 以下である、熱可塑性加硫ゴム組成物。

【請求項 2】

前記ゴムが、少なくとも前記半結晶性ポリプロピレンの存在下に動的に加硫されたものであり、それによって前記熱可塑性加硫ゴムが形成された、請求項 1 の組成物。

【請求項 3】

前記ランダムエチレンコポリマーが、約 70 ～ 約 90 重量%のエチレンからの繰返し単位と約 10 ～ 約 30 重量%の 3 ～ 8 個の炭素原子を有する少なくとも 1 種のモノオレフィンからの繰返し単位を含む、請求項 1 の組成物。